

## 建設業で売上減少と資金繰りの不安が見られる。

山口商工会議所では、管内中小企業97社を対象に景況調査を実施し、このほど令和6年4～6月実績と令和6年7～9月期見通しについての調査結果(回答数82社、回答率84.5%)をとりまとめた。本調査は、3ヶ月毎に年4回行っている。

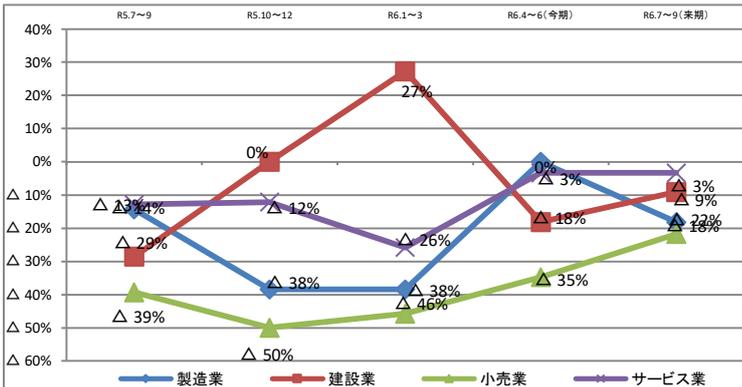
業況判断DIIについて、前期と比べると売上については、建設業、小売業で減少しており、特に建設業は27%から▲36%と振幅が大きい。資金繰りについても、建設業で9%から▲27%と悪化が見られる。従業員数は、建設業、小売業で上昇が見られた。今期中に設備投資を実施した企業は全体の15%、来期設備投資を実施予定の企業は16%であり、前回調査とあまり変化が見られない。経営上の問題点については、依然として仕入単価の上昇が上位に入っており、価格上昇が継続していることがうかがえる。また、需要の停滞も上位に入っており、仕入単価の上昇かつ売上が減少していることにより、経常利益があまり改善されないと予想される。

前年同月比と今期の状況を集計したところ、全産業では▲32%から▲15%と改善が見られた。産業別に見ると、製造業は変わらず、建設業が▲54%から▲18%、小売業が▲50%から▲35%、サービス業が▲19%から▲3%と、建設業、サービス業に大幅に改善が見られた。

### ◆業況D I 値（今期の状況）

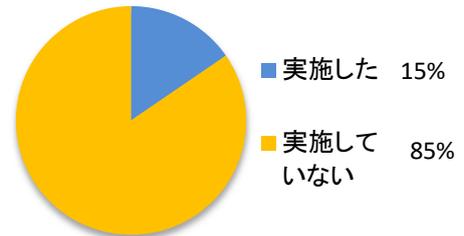
	業況判断	前回調査比	売上	前回調査比	資金繰り	前回調査比	仕入単価	前回調査比	経常利益	前回調査比	従業員数	前回調査比
全産業	△ 15%	↗	△ 18%	↘	△ 20%	↗	62%	↗	△ 27%	→	△ 4%	↗
製造業	0%	↗	0%	↗	△ 21%	↗	79%	↗	△ 14%	↗	0%	→
建設業	△ 18%	↘	△ 36%	↘	△ 27%	↘	45%	↘	△ 27%	↘	△ 9%	↗
小売業	△ 35%	↗	△ 29%	↘	△ 25%	↗	63%	↗	△ 50%	↘	10%	↗
サービス業	△ 3%	↗	△ 6%	↗	△ 10%	↗	61%	↗	△ 13%	↗	△ 14%	↘

### ◆産業別業況判断D I（前3期からの推移と来期見通し）

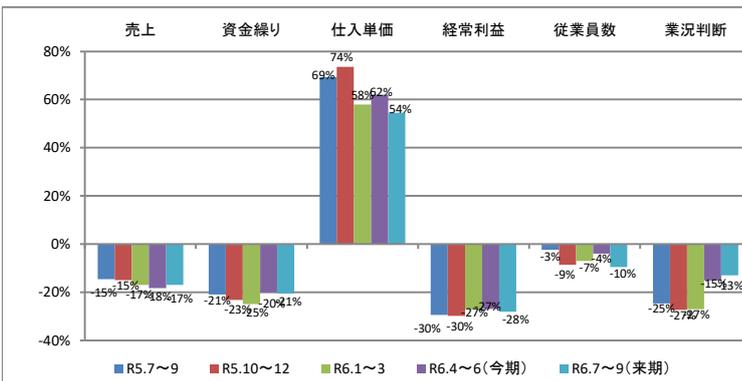


### ◆新規設備投資（今期実施・来期計画）

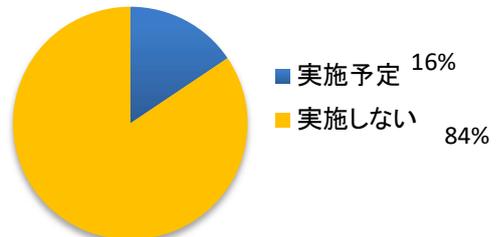
#### 【今期設備投資】



### ◆全産業D I項目別比較（前3期からの推移と来期見通し）



#### 【来期設備投資計画】



### ◆経営上の問題点

	製造業	建設業	小売業	サービス業
1位	原材料価格の上昇 27.6%	官公需要の停滞 19.4%	仕入単価の上昇 22.2%	材料等仕入単価の上昇 15.2%
2位	需要の停滞 17.2%	民間需要の停滞 19.4%	需要の停滞 18.5%	人件費以外の経費の増加 13.9%
3位	人件費の増加 10.3%	材料価格の上昇 12.9%	消費者ニーズの変化への対応 13.0%	利用者ニーズの変化への対応 12.7%

※D Iとは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目についての増加（好転）企業割合から減少（悪化）企業割合を差し引いた値を示す。